

第47回全国高等専門学校体育大会

第46回全国高等専門学校体育大会卓球競技実施要項

1. 主催 一般社団法人全国高等専門学校連合会
2. 主管 全国高等専門学校体育大会卓球競技専門部
岡山県卓球協会，津山卓球協会，津山工業高等専門学校
3. 後援 文部科学省，公益財団法人日本体育協会，公益財団法人日本卓球協会，
岡山県，岡山県教育委員会，公益財団法人岡山県体育協会，
津山市，津山市教育委員会，津山市体育協会
4. 大会期日 平成24年8月18日（土），19日（日）
5. 公式練習 平成24年8月17日（金） 13：00～15：00
岡山県津山総合体育館
6. 会場 岡山県津山総合体育館
〒708-0004 岡山県津山市山北669 TEL：0868-24-0202
7. 競技種目 (1) 団体戦
ア. 出場校：各地区代表12チーム
① 北海道（1校） ② 東北（1校） ③ 関東信越（2校）
④ 東海北陸（2校） ⑤ 近畿（2校） ⑥ 中国（1校）
⑦ 四国（1校） ⑧ 九州沖縄（1校） ⑨ 開催校（1校）
イ. チーム編成：監督1名，コーチ1名，マネージャー1名，男子選手8名以内
計11名以内
(2) 個人戦
ア. 参加人数：監督（出場校ごと）1名
① 男子シングルス 各地区代表2名（ただし，北海道1，開催校1）計16名
② 男子ダブルス 各地区代表2組（ただし，北海道1，開催校1）計16組
③ 女子シングルス 各地区代表2名（ただし，北海道1，開催校1）計16名
④ 女子ダブルス 各地区代表2組（ただし，北海道1，開催校1）計16組
8. 参加資格 高等専門学校の学生で，財団法人日本卓球協会に登録している者であること。
9. 競技規則 (1) 平成24年度日本卓球ルールによる。
(2) 使用球は，公益財団法人日本卓球協会公認球40mmホワイトとする。
(3) 選手は，公益財団法人日本卓球協会指定のゼッケンを背につけなければならない。
(4) 団体戦及び個人ダブルスは同一の公益財団法人日本卓球協会公認のウェアを着用する。
また，団体戦，個人ダブルス，個人シングルスとも対戦相手とは異色にする。
10. 競技方法 (1) 団体戦
ア. 出場チームをA，B，C，Dの各ブロックに分け，ブロック別に予選リーグを行い各ブロックの1位チームによる決勝トーナメント（準決勝の組合せはA対B，C対Dとする。）を行う。また予選リーグ各ブロック2位チーム（4チーム）と，決勝トーナメント一回戦敗退チーム（2チーム）で3位決定トーナメントを行う。
（組合せは準決勝A対Bの敗者はC対Dの2位チームの勝者と対戦し準決勝

C対Dの敗者はA対Bの2位チームの勝者と対戦し各々の勝者を3位とする)

イ. 試合は、4シングルス、1ダブルスの編成とし、3番にダブルスをおき、3点先取法とする。また、1、2番に出場する選手のみでダブルスを組むことはできない。

ウ. シングルス、ダブルスともに1本5ゲームマッチとする。

(2) 個人戦

ア. 出場選手をA、B、C、Dの各ブロックに分け、ブロック別に予選リーグを行い各ブロックの1位選手による決勝トーナメント(準決勝の組合せはA対B、C対Dとする。)を行う。また予選リーグ各ブロック2位選手と、決勝トーナメント一回戦敗退選手で3位決定トーナメントを行う。

(組合せは準決勝A対Bの敗者はC対Dの2位選手の勝者と対戦し準決勝C対Dの敗者はA対Bの2位選手の勝者と対戦し各々の勝者を3位とする)

イ. シングルス、ダブルスともに1本5ゲームマッチとする。

11. 組合せ 参加申し込み終了後、主管団体の責任において決定し、その結果を直ちに出場校に通知する。

(1) 団体戦

ア. シード4チームを決定する際には次の事項を考慮する。

(ア) 前年度本大会ベスト4のチームを上位にシードする。1位は優勝チーム、2位は準優勝チーム、3位は、3位決定戦の勝者で、予選リーグを1位で通過し決勝トーナメントで優勝チームに敗退したチームを上位とする(3位決定戦の勝者2チームが予選リーグ1位と2位通過の場合は予選1位通過が上位、2位通過2チームの場合は優勝チームに敗退したチームに勝ったチームを上位とする)。ただし、該当チームが地区大会で2位以下(ただし、同一地区から入賞校が2校以上ある場合は、地区大会2位でもシードになりうる)又は出場しない場合は、その所属地区の1位チームを前年度の本大会における該当チームの順位に応じて下位に順番にシードする。シード順位はA、D、C、Bの各ブロック順とする。

(イ) (ア)でも決定できない場合は、出場地区の1位チームから抽選で下位に順次決定する。

イ. 同一地区の代表チームの1位と2位は決勝トーナメントの決勝戦まで対戦しないようにする。(東海北陸地区は、この限りでない。)また、ア.で決定した同一地区のシードチームが決勝戦までに対戦する場合は、C1、B1のシードの入れ替えを行う。)

ウ. 前年度の大会の組合せを考慮する。(予選リーグは、前年度と同じ対戦相手とならないように配慮する。)

(2) 個人戦

ア. シード4個人を決定する際には次の事項を考慮する。

(ア) 前年度本大会ベスト4の個人を上位にシードする。1位は優勝個人、2位は準優勝個人、3位は3位決定戦の勝者で、予選リーグを1位で通過し決勝トーナメントで優勝した個人に敗退した個人を上位とする(3位決定戦の勝者の2者が予選リーグ1位と2位通過の場合は予選1位通過が上位、2位通過が2者の場合は優勝個人に敗退した個人に勝った個人を上位とする)。ただし、該当個人が出場しない場合は、その所属地区の1位個人を前年度の該当個人の本大会順位に応じて下位に順番にシードする。なお、シード順位はA1、D1、C1、B1の各ブロック個人番号とする。

(イ) (ア)で決定できない場合は、出場地区の1位個人から抽選で下位に順次決定する。

(ウ) ダブルスの場合は、前年度のペアと異なる場合にはシードしない。

イ. 同一地区の代表個人の1位と2位は、決勝戦まで対戦しないようにする。(東海北陸地区はこの限りではない。また、ア. で決定した同一地区のシード選手が決勝戦までに対戦する場合は、C1, B1のシードの入れ替えを行う。)

ウ. 地区大会の成績を考慮する。(基本的には、地区大会の1位と2位の個人が初戦の対戦相手となるように配慮する。)

エ. 前年度の大会の組合せを考慮する。(予選リーグの各ブロックの対戦相手は、前年度と同じ対戦相手とならないように配慮する。)

12. 表彰
- (1) 優勝校には、賞状及び文部科学大臣杯とメダルを授与し、2位、3位チームには賞状及びメダルを授与する。
 - (2) 文部科学大臣杯は、優勝校の持ち回りとする。
 - (3) 前年度優勝校には、文部科学大臣杯受賞章を授与する。
 - (4) 個人種目は1, 2, 3位に賞状及びメダルを授与する。
 - (5) 功績が特に顕著なチーム、個人に対しては特別に表彰することがある。

13. 参加料及び納入方法

参加料 団体戦 1チーム当たり 14,400円

個人戦 選手1人当たり 1,800円

(団体戦登録選手の個人戦参加料は、無料とする。)

参加料は参加申込みと同時に振込口座へ納入すること。なお、既納の参加料は返還しない。

[振込口座]

金融機関名 津山信用金庫 北支店

口座種別 普通預金

口座番号 0196684

口座名 津山工業高等専門学校学生課長 阿藤 俊二

(フリガナ) ツヤマコウギョウコウトウセンモンガクコウガクセイカチョウ アトウ シュンジ

14. 参加申込
- (1) 申込期限 平成24年7月20日(金) (必着とする)
 - (2) 申込先 〒708-8509 岡山県津山市沼624-1
津山工業高等専門学校 学生課内
第47回全国高等専門学校体育大会 卓球競技事務局
TEL: 0868-24-8293 FAX: 0868-24-4403
 - (3) 申込方法 各地区の担当校が別途定める参加申込書で申し込むこと。

15. 選手等の変更

(1) 不慮の事故(ア, イ)による団体戦の選手変更は、大会前日までに変更届を開催校に提出した上で、代表者会議において協議の上認める場合がある。個人戦では変更を認めない。

ア. 選手の病気、怪我による入院。(医療機関の診断書又は証明書を添付する。)

イ. 3親等以内の不幸。(届書を添付する。)

(2) 監督、コーチ、マネージャーの変更は、大会前日までに変更届を開催校に提出した上で、代表者会議において審判長と競技委員長の承認を必要とする。

16. 団体戦、個人戦のベンチ入りできる資格と人数について

(1) 団体戦: 団体登録された、監督・コーチ・マネージャー・選手(8名)の合計11名以内。

(2) 個人戦：個人登録された、監督・コーチ又は、個人の所属チームで団体登録された監督・コーチ・マネージャー・選手（8名）の内1名。ただし、上記以外で個人選手が認めた者がベンチに入る場合は、届書を提出し代表者会議において審判長と競技委員長の承認を必要とする。

17. 競技マナー (1) 選手は高専生らしい真摯な態度で試合を行うように努める。
(2) 試合中のベンチや応援団からの選手への指示は禁止する。
(3) ベンチや応援団の応援は節度のあるものとする。
18. 代表者会議 (1) 日 時 平成24年8月17日（金）14：00～
(2) 場 所 岡山県津山総合体育館（未定）
19. 開会式 平成24年8月18日（土）9：40 から競技会場で行う。
20. 閉会式 平成24年8月19日（日）全競技終了後、競技会場で行う。
21. 宿 舎 希望する学校に斡旋する。
22. その他 (1) 試合中の負傷については、大会本部で応急処置をするが、その後の処置は各学校及び各自で行うこと。
(2) 健康保険証（写し可）等は、各自で準備しておくこと。
(3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター所定の用紙を各学校で持参すること。
(4) 大会出場者で、ホームページ、報道等に、個人名を公表して欲しくない者は、学校を通して大会事務局（taiiku-taikai@tsuyama-ct.ac.jp）に申し出てください。事前に申し出のない場合は、公表します。